

令和8年度 教員養成フラッグシップ4大学協議会シンポジウム
これからの教員養成改革に向けた教員養成フラッグシップ大学事業の成果
— 質の高い教師人材の育成と教職員集団の形成を見据えて —

■開催日時 令和8年12月12日(土) 13:00-17:10

■開催方法 対面・オンラインのハイブリッド形式での開催

- ① 大阪教育大学天王寺キャンパス 西館ホール及び西館2階講義室E・F
(対面150名＋サテライト150名)
- ② Web配信

■シンポジウムプログラム 総合司会：藤井 睦子(大阪教育大学理事・副学長)

○13:00-13:10 開会挨拶：森山 潤(兵庫教育大学学長、日本教職大学院協会会長)

岡本 幾子(大阪教育大学学長、教員養成フラッグシップ4大学協議会座長)

※研究大会・シンポジウムを含めた挨拶

○13:10-13:50 基調講演：秋田 喜代美(学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授)

『教員養成フラッグシップ大学に学ぶ教員養成大学の未来：』

養成課程改革が示すこれからの教師の専門性』

- ・教員養成フラッグシップ大学の5年間の養成課程改革の取り組みから、これからの時代の教育を担う教師の専門性について、私たちは何を学ぶことができるのか、教員養成部会審議まとめを踏まえて考えたい。

○13:55-15:45 教員養成フラッグシップ4大学による発表(各25分)

『教員養成フラッグシップ大学としての5年間の成果発表』

指定大学：堀田 龍也(東京学芸大学副学長、先端教育人材育成推進機構長)、

浅原 雅浩(福井大学教育学部副学部長)、

木村 優(福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科長)

[休憩:10分間]

永田 智子(兵庫教育大学副学長)

峯 明秀(大阪教育大学理事・副学長)

- ・5年目評価のための書面報告とヒアリングを通じて、自大学の5年間の取組成果を発表する。
その際、

- ①先導的な教職科目の展開状況や効果検証、②指定大学としての取組を進める中での教員の意識や指導内容の変化、③科目開発・単位を減じた科目に係る教員配置等の変化、を内容に含める。

○16:00-17:00 パネルディスカッション

『教員養成フラッグシップ指定大学を目指す強み・専門性とは』

ファシリテーター：秋田 喜代美(学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授)

パネリスト：堀田 龍也(東京学芸大学副学長、先端教育人材育成推進機構長)、

橋本 康弘(福井大学教育学部長)、

森山 潤(兵庫教育大学学長、日本教職大学院協会会長)、鈴木 剛(大阪教育大学理事・副学長)

- ・講演での話題提供を受けて、新たな教職課程のもとで、フラッグシップ大学として取り組んだ知見をどのように発展させるのか、4大学それぞれにおける強み・専門性をどのように教育課程に落とし込むのかについて、会場・オンライン参加者を含めて意見交換を行う。

○17:00-17:05 総評：若林 徹(文部科学省高等教育局専門教育課教員養成企画室長)

○17:05-17:10 シンポジウム閉会挨拶：水野 治久(大阪教育大学副学長)